

「移動電源車拡販」

2013年10月11日 日刊工業新聞26面掲載



**神鋼造機**  
**移動電源車**

神鋼造機は出力1000キロワット級の移動電源車（写真）で国内3大メーカーの一角を占める。トラックにディ

ゼル発電機やケーブルドラム、タッチパネルを搭載、1人で簡単に操作できる。

出力500キロワット以下のタイプは普通免許で運転できる小型設計。ヘリコプター空輸用に空気抵抗が少ない車両を開発するなど特注への対応力も強みだ。過去50年間に約900台を販売した。

東日本大震災以降、災害対策の意識が高まり、売れ行きは震災前の2倍以上。2013年3月期は主要顧客の電力会社と通信会社に加え、高速道路会社や製造業に販路が広がり、23台を販売した。「自治体からの引き合いも増えている」（池田直隆営業担当課長）という。

今後はユーザーのすそ野を広げる方針だ。そのため高電圧向け（発電電

**簡単操作、災害対策で好調**

庄6600ワット、出力200キロワット級の低電圧タイプ（価格3150万円から）を追加した。12年末には本社工場の月産能力を6台に増強もした。

国内販売代理店網の拡充や東南アジアなどの市場調査にも乗り出している。16年3月期に50台の販売を目指す。

▽所在地▽岐阜県大垣市本今町1682の2、0584・89・3121  
▽社長▽米谷剛人氏▽主な事業▽各種試験器、クランチ・継ぎ手、減速機、移動電源車などの製造販売▽ロングセラー商品の発売時期▽63年（昭和38）9月

（金曜日掲載）